

| 科目コード | ナンバリング | 単位数 | 学期 | 授業区分 | 科目区分 | 履修区分 | 配当学年 |
|--------|-----------------|---------------------------|----|---------------------------|------|------|------|
| 210007 | X-21-B-2-210007 | 2 | 前期 | 【1・2年次生】国際学部国際文化学科 | 専門 | 選択 | 1年 |
| 授業科目 | | | | 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 | 専門 | 選択 | 1年 |
| 担当教員 | | | | 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース | 専門 | 選択 | 1年 |
| 国際政治学 | 佐々木 寛 | | | 【1-3年次生】経営情報学部経営学科 | × | × | × |
| | | | | 【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科 | × | × | × |
| | | | | 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース | × | × | × |
| | | 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース | × | × | × | | |

授業目的

本講義の目的は、国家間関係がつくりだす「国際政治 (inter-national politics)」の特徴を把握し、現代のさまざまな国際問題への多角的な視点を養うことにある。学としての国際政治学は、それ自体20世紀に誕生したが、その「論理」はヨーロッパ近代に歴史的に生成したものである。その「論理」をしっかりと理解することが、その「論理」が現代世界でどのように変容しているのかを把握する前提となる。講義では、古典的な著作を重視しながら、特に「政治的リアリズム」の理論を現代的な文脈で再検討したい。必要に応じて、学生同士でディスカッションを行う。

各回の授業内容

| | |
|--|--|
| <p>第1回 【授】 イントロダクション——「国際」が意味するもの 【前・後】 授業で紹介される文献や資料を読んでおく (2時間程度)</p> <p>第2回 【授】 戦争がつくりだした「政治的リアリズム」と古典外交の論理 ① 【前・後】 授業で紹介される文献や資料を読んでおく (2時間程度)</p> <p>第3回 【授】 戦争がつくりだした「政治的リアリズム」と古典外交の論理 ② 【前・後】 授業で紹介される文献や資料を読んでおく (2時間程度)</p> <p>第4回 【授】 20世紀の論理 ① —— 2つの世界戦争 【前・後】 授業で紹介される文献や資料を読んでおく (2時間程度)</p> <p>第5回 【授】 20世紀の論理 ② —— 核兵器と政治 【前・後】 授業で紹介される文献や資料を読んでおく (2時間程度)</p> <p>第6回 【授】 【映像資料で見る核戦略】 【前・後】 授業で紹介される文献や資料を読んでおく (2時間程度)</p> <p>第7回 【授】 冷戦とはなんであったか ① 【前・後】 授業で紹介される文献や資料を読んでおく (2時間程度)</p> <p>第8回 【授】 冷戦とはなんであったか ② 【前・後】 授業で紹介される文献や資料を読んでおく (2時間程度)</p> | <p>第9回 【授】 冷戦構造の崩壊と冷戦後の世界 【前・後】 授業で紹介される文献や資料を読んでおく (2時間程度)</p> <p>第10回 【授】 【映像資料で見る冷戦後の世界】 【前・後】 授業で紹介される文献や資料を読んでおく (2時間程度)</p> <p>第11回 【授】 パワー・ポリティクス (権力政治) の構造変容 ① 【前・後】 授業で紹介される文献や資料を読んでおく (2時間程度)</p> <p>第12回 【授】 パワー・ポリティクス (権力政治) の構造変容 ② 【前・後】 授業で紹介される文献や資料を読んでおく (2時間程度)</p> <p>第13回 【授】 「三つの世界像」と国際政治理論 【前・後】 授業で紹介される文献や資料を読んでおく (2時間程度)</p> <p>第14回 【授】 「第四の世界像」と国際政治理論 【前・後】 授業で紹介される文献や資料を読んでおく (2時間程度)</p> <p>第15回 【授】 まとめ——再び「国際」が意味するもの 【前・後】 授業で紹介される文献や資料を読んでおく (2時間程度)</p> <p>第16回</p> |
|--|--|

成績評価方法

評価は基本的に定期試験による。ただ、毎回、授業中にコメントカードを書いてもらい、それによって受講者との対話を補強したい。また、その内容は、成績評価に若干加味される。また特に優秀な答案是、後進の参考とするために本人の了解を得て、公開する。

教科書・参考書

ポール・ハースト『戦争と権力』(岩波書店)
E・H・カー『危機の20年』(岩波文庫)
H・J・モーゲンソー『国際政治』(岩波文庫) など。

受講に当たっての留意事項

出席はとらないが、対話を重視した、思考力を要求する授業であるので、出席しないと試験はとうていできないと思われる。また、応用科目である「平和学」を受講する前に受講することが履修上、望ましい。

| 実務経験のある教員による授業科目有無 | 実務経験と授業科目との関連性 | アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施 |
|--------------------|----------------|-------------------------------------|
| × | | ○ |

学習到達目標

国際現象を理論的・批判的にとらえる能力を涵養する。また、歴史的に培われた「パワー・ポリティクス」の論理や「政治的リアリズム」のエッセンスの理解をめざす。

JABEE

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習